業種	海運(旅客)
取組分野	教育・訓練
テーマ	自社が課題とする点検・整備に特化した取組
取組の狙い	使用船舶が船齢 30 年以上となり、老朽化が進む中、故障が発生した際の
	早期運航再開、故障の未然防止措置を目的とし、自社点検を拡充させる取
	組
目休的内容	1 取組の背基

## 具件的IYI谷

東鉄商事株式会社は、岐阜県木曽川にある発電用ダム湖(恵那峡)でジ エット船3隻を含む4隻の小型船舶(総トン数20トン未満)で渓谷内を 周遊しており、使用船舶4隻のうち、3隻が船齢30年以上となっており、 使用船舶が老朽化している。

運航に際しては、各船とも船長1名で対応しており、船長は「始業点検 表」の項目に基づき、運航開始前に担当船舶の点検を実施し、朝礼時等に 運航管理者に結果を報告するとともに、他の船長とも情報共有している。

使用船舶の修繕においては、岐阜県の山間で運航しているため、近隣に 船舶を整備できる業者がなく、遠隔地にある整備業者に依頼するため、す ぐに修理することができない場合があり、運航再開まで時間を要すること が課題となっており、自社で点検・整備に詳しくなれば、運航開始前の日 常点検を充実させることができ、故障が発生する前に自社で対処できる可 能性がある。





# 2. 具体的な取組内容 【自社整備の拡充】

- ① 故障しやすい箇所を事前に把握し、修繕に必要であると考えられる部 品一式を予め購入して保管
- ② 軽微な修繕が必要な場合は、予め購入した部品を使用し、動画・画像 などを活用して整備事業者からの指示のもと船長などが自ら整備を実 施

### 【整備技術の向上】

- ① 船舶の整備事業者が実際に行った整備風景を動画で保存
- ② 上記①の動画を活用して整備方法、整備手順、自社で取り入れること ができる整備手法などについて船長と意見交換

③ 自社での点検作業の見直しに反映

# 【整備マニュアルの拡充】

- ① エンジンやウォータージェット装置メーカーによる保守点検マニュアルのほか、技術伝承の観点から歴代船長の技術知見・ノウハウを加えた「船長教育要領」を作成
- ② 機械等に不慣れな新人船長でも点検が実施できるようにするため、点 検に特化した「始業前点検要領」「定期点検整備要領」を経験豊富な船 長と意見交換しながら作成







# 取組の効果

- ① 上記取組により、船長が船舶のどこに問題があるかを知る機会となり、自社でできる整備や点検の範囲の見直し、船長自身の知識習得、故障の未然防止に繋がり、運航再開までの時間短縮にも寄与している。
- ② 新たに作成したマニュアルを活用して女性船長を現在育成中である。

# 事業者名

東鉄商事株式会社 恵那峡遊覧船 (連絡先 0572-22-8644)